

やっばい
もうだった

和泉市の小中一貫校建設 ねらいは **学校統廃合**

会議資料から明らかに

「和泉市の子どもと教育を守る会」は、7月1日、和泉市に「はつが野地区『施設一体型』小中一貫校建設」に関わる議事録等の公開を請求しました。これを受けて「はつが野地区『施設一体型』小中一貫校建設」に関わる議事録等が7月19日に公開されました。公開された議事録・資料等から、「施設一体型小中一貫校」建設の重要な目的の1つに学校統廃合があることが明らかになりました。

児童・生徒数減少地域には小中一貫校

今回の資料には、「今後の施設一体型の小中一貫校については、小中学校の児童生徒数の減少となる地域においても検討すべき課題であると考えています。」(2)とあり、槇尾中校区、富秋中校区と地域まで指定して今後の統廃合の予定をあげています。「保護者、地域住民の理解が得られる...建設を検討...」としていますが、今回の新設校でも、市民の

参画どころか十分な説明責任すら果たせていない中、どのようにして理解を得るつもりなのか疑問です。子どもが減ったら、統廃合で小中一貫校へ、という方法で学校をどんどんつぶしていくようなやり方が、地域や子どものためになるのでしょうか。

(2)
今後の施設一体型の小中一貫校については、小中学校の児童生徒数の減少となる地域においても検討すべき課題であると考えています。10中学校区の児童・生徒数の推移から推察すると、南松尾中学校区(南松尾小)、槇尾中学校区(槇尾中、横山小、南横山小)、富秋中学校区(富秋中、池上小、幸小)が将来的に大幅に減少してくるものと予想しており、今後は、より教育効果のある学校づくりとして、保護者、地域住民の理解が得られる施設一体型小中一貫校の建設も検討して行きたいと考えています。

(平成25年1月22日「政策調整委員会:施設一体型小中一貫校について」資料2「和泉市小中一貫教育(プロジェクトHIZUMI)」P.5より)

南松尾小・中学校は閉校し、新設校に編入

和泉市教育委員会は、南松尾中学校区の小中一貫教育説明会で、南松尾小・中学校の統廃合は考えていないと述べてきました。ところが、今回公開された資料(1)には「南松尾地域を新校の校区に編入することは、適正規模での教育という観点から適した対応であると考えます。」と書かれており、当初から統廃合を目的としていることが明らかになりました。しかも、歴史ある学校なので統廃合には地域からの反対が予想されるため、「現時点での就学区域への組み入れを表明するのではなく...」と住民には知らせないでおこうということまで提起しているのです。市民をあざむいてまで進めようとする学校統廃合、小中一貫校に、子どもの未来を託せるのでしょうか。

(1)

南松尾地域を新校の校区に編入することは、適正規模での教育という観点から適した対応であると考えます。

しかし、南松尾校区は市合併当時から、1小1中を有した校区であり、開校百数十年を超える地域で、閉校となると反対となることも予想されます。

よって、現時点での就学区域への組み入れを表明するのではなく、教育委員会としては、学校施設面や集団教育面、また、通学方法も検討しながら、地域からの同意を得たいと考えております。

(平成25年1月22日「政策調整委員会:施設一体型小中一貫校について」資料1「施設一体型小中一貫校について」P.5より)

富秋中校区・槇尾中校区も統廃合

槇尾中学校区

槇尾中、横山小、南横山小 → 施設一体型小中一貫校

富秋中学校区

富秋中、池上小、幸小 → 施設一体型小中一貫校



和泉市の子どもと教育を守る会 連絡先：泉北教職員組合

TEL 0725-41-1953 FAX 0725-44-6570 E-mail: senbokukyouso@gmail.com